# 笑顔あふれる春のひととき 春まつり開催!!

つがる市春まつり（市観光物産協会主催）が4月19日、20日に平滝沼公園で開催され、千本桜とともに大勢の人でにぎわいました。

ステージイベントでは、市内のこども園や女舞姫と知求群会の合同演舞、木造高校吹奏楽部の演奏など、多くの出演者が歌や踊りを披露し、花見客を魅了。また、約90店舗のクラフト展やキッチンカー、出店のテントがずらりと並び、花見客は足を止めて買い物を楽しむなど、春の訪れを感じながら楽しい時間を過ごしました。

もりた保育園による元気いっぱいの演舞

木造高校吹奏楽部による息の合った演奏

女舞姫と知求群会による力強い合同演舞

桜の下でほっこりランチタイム

子どもたちに大人気のつがーるちゃん

アップリート君とじゃんけんする子どもたち

思い思いの時間を過ごす人たち

# 各県を応援　応援のぼり旗完成

木造高校美術部の生徒13人が、6月21日、22日に本市で開催される「青の煌めきあおもり国スポ・障スポ」のリハーサル大会（東北高等学校柔道大会）に訪れる東北6県の選手・監督を激励するために制作した応援のぼり旗が完成したため倉光市長に報告に訪れました。

この応援のぼり旗は、出場各県の特色を盛り込んだデザインとなっており、令和8年10月に本県で開催される本大会で市内の中学生に制作を依頼する予定で、その見本となるよう市が木造高校に依頼したものです。

完成品に対し倉光市長は「一目で分かるようにするのは難しいと思うが、こののぼり旗はどの県なのか一発で分かった。大事に使わせていただき、皆さんと一緒に国スポを県内外の人にPRしたい」と話しました。

岩手県を担当した2年生の稲葉宇慶さんは「仲間と色んな案を出し合い試行錯誤していいデザインに仕上がった。布用絵の具の水加減が難しいのでそこを注意して」と今後制作する予定の中学生へ向けてアドバイスしました。

東北6県の応援のぼり旗の完成品を倉光市長に報告した生徒たち

# 体育祭でお披露目　青の煌めきダンス

森田中学校（北川一静校長）で令和8年10月に本県で開催される「青の煌めきあおもり国スポ・障スポ」を盛り上げようと、青の煌めきダンス出前教室が実施されました。生徒たちは5月17日開催の体育祭での全校パフォーマンスで青の煌めきダンスを披露することに決まったため、4月から体育の授業で振り付けの練習に取り組んできました。

この日、手ぶりやステップなど細かい動きまで完璧に仕上げるため、講師（県広報ボランティア：工藤亜梨菜さん）の指導を受けながらダンスを学びました。

3年生の神遥之介さんは「工藤さんの指導のおかげで、上手にダンスを踊れるようになった気がします。最後の体育祭なので全力でパフォーマンスをし、すばらしい体育祭にしたいです」と抱負を話しました。

ダンスの練習をする生徒たち

# 実りの秋を願い　稲作農家を激励

稲作農家の生産意欲の高揚を図ろうと、倉光市長はじめ西北地域県民局、農協関係者などが、田植え作業中の生産者を督励しました。

この日一行は、森田地区の石岡勝博さんと天坂潤さんの水田を訪問し、順調に作業が進んでいることを確認。田植え後も適切な水管理や除草剤の使用法などについて説明を行いました。

天坂さんは「若い人を育てながら楽しく農業を続けていき、皆さんに喜んでもらえるようなおいしいコメを作りたい」と話しました。

督励を終えて倉光市長は「しっかりとした栽培管理で、安全でおいしいコメを作っていただき、いい出来秋を願っています」と激励しました。

作業状況を説明する天坂さん（左から2人目）